

によど川

仁淀川町広報

2008

5月号

巻頭カラー

花ざかりの山里

「四季のまつり」写真コンテスト

集落見聞録 〈大板〉

しだれ桜の下で愛を誓う



花ざかりの山里

咲き誇る景色に
息をのむ

今年の春も町内各地でいろいろな
花がきれいに咲きました。その一部
を紹介します。

上久喜の桃

散り始めた桜からバトンタッチさ
れるように、上久喜の約二百本の桃
畑では赤、白、ピンクの色鮮やかな
花が咲きそろい、辺りを華やかに彩
りました。





日之浦隆寛さんが十年余り前から
植え始めたものですが、見事な花に
魅了され、地区住民も桃の苗を植え
るようになりました。

数年前は隠れた花の名所でした
が、話を聞きつけ花見に来る人が
年々増えているそうです。

ひょうたん桜

桜地区のひょうたん桜は、腐食の
進んでいる枝の治療などを行った成
果が表れたのか、例年以上に美しい
花を見せてくれました。

また夜間はライトアップされ、昼
間とは全く違う幻想的な世界で、大
勢の花見客を楽しませてくれました。

中越家のしだれ桜

秋葉まつりの練りが行われ、由緒
ある庄屋跡として有名な別枝の中越
家。開花時季には、県内外から大勢
の観光客やカメラマンが訪れ、大変
なぎわいを見せました。

写真右上／上久喜の桃畑

(撮影・四月九日)

写真左上／ひょうたん桜

(撮影・四月八日)

写真左下／中越家のしだれ桜

(撮影・四月八日)

しだれ桜の下で愛を誓う

中越家の庭が結婚式場に

三月二十九日、樹齢二百年を超える中越家のしだれ桜（別枝）の下で人前結婚式が行われました。

新郎新婦は、高知市在住の元木智之さんとむつみさんで、桜が大好きなお二人が昨年、初めてデートで訪れたのがこの場所だったことから、ここで結婚式を挙げるようになりました。

桜はまだつぼみのままでしたが、やわらかな日差しの中、永遠の愛を誓ったお二人は幸せ満開。

式に出席した親族のほか、大勢の花見客たちもお二人の門出を大きな拍手で祝福していました。



お二人の思い出の場所で厳かに結婚式が行われました

雨の中、中津観光開き



名野川磐門神楽の奉納

3月30日、中津溪谷ゆの森駐車場で恒例の中津観光びらき（主催・中津観光協会、名野川磐門神楽保存会）が行われました。

冷たい雨の降りしきる中での開催でしたが、舞台では名野川磐門神楽の奉納やカラオケ大会などが行われました。

今年もこいのぼり

中津溪谷入口に、今年も中津観光協会がこいのぼりをあげています。

新緑の中、さわやかな風を受けてゆったりと泳ぐ姿は、5月中旬まで楽しめます。



新緑の中を泳ぐこいのぼり

河嶋山神社でコンサート



4月6日、河嶋山神社（百川内）でオカリナ・ケーナコンサートが行われ、100人を超える聴衆が詰めかけました。

演奏をオカリナとケーナは大目真壺さん、アイリッシュ・フルート（木製フルート）とティン・ホイッスル（縦笛）は北村剛さんで「コンドルは飛んでいく」や「花祭り」などを約1時間にわたって披露しました。

透明感のある美しい音色が森に囲まれた境内に響きわたり、時折聞こえてくる鳥のさえずりや風の音も相まって、自然と音楽との一体感が感じられる素晴らしいコンサートになりました。



まずはお化粧から

三月三十日、別府小体育館で伝統文化こども教室「みんなで学ぶ秋葉まつり」発表会が行われました。

秋葉神社祭礼練り保存会（吉岡郷継会長）の主催で行われたもので、別府小学校児童やまつりの関係者が、衣装の着付けや太刀踊りなどを披露しました。

会場を訪れた大勢の見学者は、普段見ることのできないまつりの裏側を、カメラ片手に熱心に見入っていました。

吉岡会長は「伝統ある秋葉まつりをどうやって継承していくかが課題となっています。まつりの祭礼行事は男性だけで行わ

化粧や衣装の着付けを披露 「みんな学ぶ秋葉まつり」発表会

三月三十日、別府小体育館で伝統文化こども教室「みんな学ぶ秋葉まつり」発表会が行われました。

秋葉神社祭礼練り保存会（吉岡郷継会長）の主催で行われたもので、別府小学校児童やまつりの関係者が、衣装の着付けや太刀踊りなどを披露しました。

会場を訪れた大勢の見学者は、普段見ることのできないまつりの裏側を、カメラ片手に熱心に見入っていました。

吉岡会長は「伝統ある秋葉まつりをどうやって継承していくかが課題となっています。まつりの祭礼行事は男性だけで行わ



本番さながらの太刀踊り



先輩方に着付けをしてもらいます